

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	19 日	記入者	垣内 博久
調査者名	饗庭	垣内	久門	鶴田	

文化財名	傘堂				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1985年(昭和60)3月15日				
所在地	葛城市染野726番地				
所有者 管理者	新在家、染野、今在家地区				
員数	1棟(附 梵鐘1口・位牌1基・石碑2基)				
時代区分	1674年(延宝2)				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	良好				
公開	公開(梵鐘は同市新在家、明円寺が保管。見学の場合は要事前連絡)				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	多くの落書きがあるが、柵を設置した後は保護されている。				
今後の課題	傘堂自体や石碑については経年劣化は仕方ないと思われる。位牌と梵鐘はそれぞれ寺の保管で問題なし。梵鐘が少し寂しくぶら下がっていました。指定に漏れた弥陀の指定をどうするかが課題。				
その他 (由緒など)	水飢饉に苦しむ農民のために大池(おいけ)を築造した郡山藩主本多政勝侯の菩提を弔うために、家臣吉弘統家(よしひろ・のりいえ)と地区の農民により建立。建立の志を継ぎ3地区が守ってきた。附属の鐘は指定を受け明円寺が保管。指定に漏れた弥陀は石光寺が保管。位牌は3地区の寺(明円寺・石光寺・観音寺)が持ち回りで保管。當麻レンゾの日に法要、9月第一日曜日に大池への感謝を込めて八朔の法要が行われる。				
コメント	建立時の意思を引き継ぎ、現在まで3地区で守っていることに意義があると思う。説明板に掛けた袋に入れて置かれている案内紙も地元の方が作成されていると聞きました。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	9 月	19 日	記入者	垣内 博久
調査者名	饗庭	垣内	久門	鶴田	

文化財名	傘堂
------	----

傘堂	説明板
	

梵鐘(明円寺)	吉弘統家(右)と藤懸玄達(左)の石碑
---------	--------------------

	
---	--

傘堂軒下	落書き
------	-----

	
---	--